

## 指定船舶（第1号調査）推計方法

報酬については、回収調査票を用途別・トン数階層別に集計し、母集団に復元した推計値を算出した後、平均の算出を行った。但し、「職種別」の値については、報告値の平均となっている。なお、推計値の算出方法は、以下の計算式により算出している。

$$\frac{\sum_{k=c}^l \sum_{j=b}^m \sum_{i=a}^n x_{kji} \frac{N_{kji}}{V_{kji}}}{\sum_{k=c}^l \sum_{j=b}^m \sum_{i=a}^n y_{kji} \frac{N_{kji}}{V_{kji}}} \quad (k: \text{内航船・外航船の別}, j: \text{用途の別}, i: \text{トン数階級の別})$$

( $x_{kji}$ : 調査項目,  $y_{kji}$ : 船員数,  $N_{kji}$ : 母集団隻数,  $V_{kji}$ : 集計隻数)

また、各項目の集計・推計方法は、以下のとおりである。

- |   |                               |                       |  |
|---|-------------------------------|-----------------------|--|
| ① 調査船舶隻数  | }                             | 報告数値の合計を調査船舶隻数で除した平均値 |  |
| ② 調査船舶総トン数  |                               |                       |  |
| ③ 平均稼働日数  |                               |                       |  |
| ④ 6月の月間総労働時間及び報酬額について   |                               |                       |  |
| a. 船員数<br>b. 年齢<br>c. 経験年数<br>d. 月間総労働時間  | }                             | 報告数値の合計を調査船員数で除した平均値  |  |
| e. きまって支給する給与（定期払いを要する報酬（基本給・その他手当）、割増手当・夜間割増）（合計、船長・職員計、部員計）<br>f. 特別に支払われた報酬（合計、船長・職員計、部員計）           |                               |                       |  |
| 報告数値を母集団に復元し算出した推計値（1人1ヶ月平均値）   |                               |                       |  |
| g. きまって支給する給与（定期払いを要する報酬（基本給・その他手当）、割増手当・夜間割増）（船長、職員（各区分）、部員（各区分））<br>h. 特別に支払われた報酬（船長、職員（各区分）、部員（各区分）） |                               |                       |  |
| 報告数値の合計を調査船員数で除した平均値  |                               |                       |  |
| i. 家族手当   | 報告数値の合計を家族手当受給船員数で除した平均値      |                       |  |
| j. 航海日当、その他手当（船長、船長・職員計、部員計）  | 報告数値を母集団に復元し算出した推計値（1人1ヶ月平均値） |                       |  |
| k. 航海日当、その他手当（船長、職員（各区分）、部員（各区分））   | 報告数値の合計を調査船員数で除した平均値          |                       |  |
| ⑤ 昨年一年間（1月～12月）の総労働時間等について  |                               |                       |  |
| a. 船員数<br>b. 年間総労働時間<br>c. 年間取得休日数  | }                             | 報告数値の合計を調査船員数で除した平均値  |  |